

特別展

なつかし仙台5

いつか見た街・人・暮らし

2023年 11/25 (土)

2024年 4/14 (日)

公益財団法人 仙台市市民文化事業団

仙台市歴史民俗資料館

Sendai City Museum of History and Folklore

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7 (榴岡公園内) 電話022-295-3956 / FAX022-257-6401

ホームページ: <https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/index.html>

E-mail: folk muse@deluxe.ocn.ne.jp

【入館料】一般・大学生240円(190円) 高校生180円(140円) 小・中学生120円(90円)

※()は30名以上の団体料金

※「どこでもパスポート」を提示の小・中学生は無料です。

※仙台市内にお住まいで65歳以上の方は無料です。

【開館時間】午前9時～午後4時45分(入館は午後4時15分まで)

【休館日】毎週月曜日(休日をのぞく)、休日の翌日(土・日・休日をのぞく)、
毎月第4木曜日、年末年始(12月28日(木)～1月4日(木))

なつかし仙台 5

～いつか見た街・人・暮らし～

2023年11月25日(土)～2024年4月14日(日)

明治時代以降、カメラによって仙台地方の街・人・暮らしの様子が記録されるようになりました。明治、大正、昭和と時代が移り変わる中、街並みの様子も人の暮らしも変わりましたが、この特別展ではかつての街の風景、人々の暮らしの様子を写真や絵はがき、写真帖などの資料から紹介し、その移り変わりをたどります。

※表紙の写真は仙台市・東一番丁の森天祐堂前にて1958年(昭和33)1月撮影のものです。

〔関連イベントのご案内〕

※いずれの行事も仙台市歴史民俗資料館で行い、入館料がかかります。

①⑤は参加自由(申込不要)、②③④はe-mailまたは往復はがきによる事前申込制です。

①展示解説 参加自由

特別展の内容を学芸員がわかりやすく説明します。

日時 2023年(令和5)11月25日(土)・2024年(令和6)1月8日(月/祝)・3月24日(日)・4月14日(日)の各日11:00～、14:00～

②講座「昭和時代の写真のアーカイブと活用術」

日時 2023年(令和5)12月10日(日) 13:30～15:00

講師 佐藤正実氏(NPO法人 20世紀アーカイブ仙台)

定員 30人(事前申込制、締切12月1日(金)必着)

③上映会「特選・思い出のセンダイ8ミリ映像」

日時 2024年(令和6)2月17日(土)

午前の部10:00～11:30、午後の部13:30～15:00

講師 坂本英紀氏(NPO法人 20世紀アーカイブ仙台)

※午前の部、午後の部とも同じ内容です。

定員 30人(事前申込制、締切2月9日(金)必着)

④講座「映像と音で楽しむ思い出の仙台」

日時 2024年(令和6)2月18日(日) 13:30～15:00

講師 伊藤豊生氏(NPO法人 20世紀アーカイブ仙台)

定員 30人(事前申込制、締切2月9日(金)必着)

⑤講座「写真が歴史資料となるまで」 参加自由

日時 2024年(令和6)3月2日(土) 13:30～15:00

講師 当館学芸員

②③④のイベント申込方法 往復はがき、またはe-mail(宛先folk muse@deluxe.ocn.ne.jp)で、希望講座名とお名前、ご住所、ご連絡先を明記の上、それぞれの応募締切日までにご応募ください。申込多数の場合は抽選となります。

◆同時開催のお知らせ

12/2(土)～1/31(水) 季節展示「仙台の正月」
12/16(土)～1/14(日) 冬のクイズラリー
2/17(土)～3/24(日) 季節展示「ひな祭り」
3/1(金)～3/31(日) 被災地関連展示

◆会期中のその他のイベント

1/13(土) 紙芝居「おらいのお正月」
2/24(土) たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)
3/9(土) 紙芝居「東日本大震災ものがたり」
3/30(土) 紙芝居「宮城の昔話」

◆次回企画展のお知らせ

2024年(令和6)4/27(土)～7/7(日) 企画展「戦争と庶民の暮らし」



芭蕉の辻
1902年(明治35)以前

画面の奥が仙台北城の方向。仙台北城から東に伸びる大町と奥州街道が直交する「芭蕉の辻」は仙台北城下で最もにぎわった場所で、四つ角には城郭風の二階建ての町屋があり、江戸時代の威風を感じさせました。

藤崎を映した絵はがき
1935年(昭和10)頃

仙台北城の方向から大町通、名掛丁の方向を撮影しています。画面右は三越仙台支店が東一番丁に開店する前年の1932年(昭和7)11月に地上3階地下1階の近代的なビルに建て替えられた藤崎デパート。



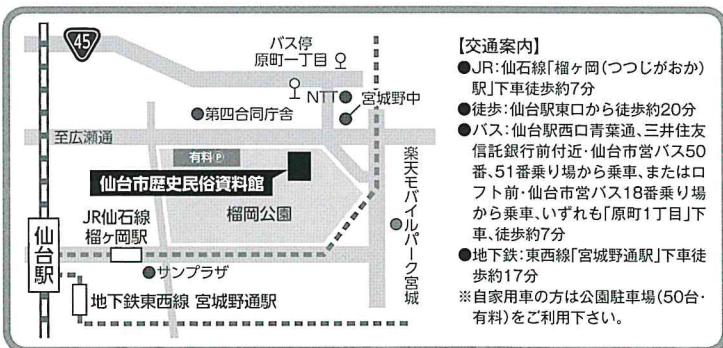
東一番丁の子供と進駐軍兵士
1947年(昭和22)頃

現在の仙台市青葉区一番町、仙台三越店定禅寺通り館(旧141ビル)の並びにあった武田時計店前で撮影された進駐軍兵士と子どもたち。

※カラーフィルムによる撮影なので展示室ではカラーでご紹介します。

開発が進む仙台北城東側
1987年(昭和62)頃

仙台北駅から東側、現在の宮城野通の方向を撮影しています。宮城野通の整備は仙台北線の地下化工事とともに進められました。仙台北線の地下化工事は2000年(平成13)に完了しました。



【交通案内】

- JR:仙台北線「榴ヶ岡(つつじがおか)駅」下車徒歩約7分
- 徒歩:仙台北駅東口から徒歩約20分
- バス:仙台北駅西口青葉通、三井住友信託銀行前付近・仙台市営バス50番、51番乗り場から乗車、またはロフト前・仙台市営バス18番乗り場から乗車、いずれも「原町1丁目」下車、徒歩約7分
- 地下鉄:東西線「宮城野通駅」下車徒歩約17分

※自家用車の方は公園駐車場(50台・有料)をご利用下さい。